

令和元年度第2回総合計画審議会 会議録（要点）

- 日時 令和2年1月21日（火）13:28～15:35
- 場所 御嵩町役場本庁舎2階 第1委員会室
- 出席者 審議会委員（敬称略、50音順）11名
安藤雅子（御嵩町議会）、鍵谷幸男（農業委員会）、重政伸司（金融協会）、
鈴木元八（観光協会）、須田俊幸（民児協）、中瓦智子（教育委員）、
平井繁幸（商工会）、益川浩一（岐阜大学）、松浪保夫（行革推進委員会）、
水野耕治（活性化委員）、山田儀雄（御嵩町議会）
事務局 5名
伊左次一郎（総務部長）、長屋史明（企画調整担当参事）、
山田敏寛（企画課長）、丹羽英仁（企画調整係長）、
玉川勇氣（企画調整係員）
※都合により欠席となった委員（敬称略、50音順） 1名
葛谷範子（子ども会育成協議会）

■議事録

○開会あいさつ

益川会長	本日は本年度2回目の審議会で第五次総合計画の後期基本計画の策定方針が示される予定。基本計画に向けての最初の会議となるので、皆さま方の忌憚のないご意見を頂戴できればと思う。
------	---

○委員委嘱

企画課長	===== 新たに委員となった3名の委員を紹介 （安藤雅子委員、松浪保夫委員、山田儀雄委員） 委嘱書…机上交付 =====
------	---

○議事

企画課長	===== 委員過半数のため成立 益川会長に進行を依頼 =====
------	--

益川会長	<p>規定によりまして議長を務める。皆さま方のご協力をいただきながら円滑に進行を進めたいと思う。</p> <p>それでは次第の3、御嵩町第五次総合計画後期基本計画の策定に向けた調査分析結果の報告について、資料1、資料2に基づきまして、事務局から説明をお願いしたい。</p>
事務局 企画調整 係長	<p>=====</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料1にて御嵩町の人口と産業の動向についての分析結果の報告 ・ 資料2にて住民アンケート「まちづくりについてのアンケート」の分析結果について報告 <p>=====</p>
益川会長	<p>後期基本計画の策定に向けた調査分析結果の報告として、人口と産業の動向、それから地域住民の方にいただいたアンケート調査について、特徴的なところを中心に説明をいただいた。こちらの調査分析結果について、皆さま方のご意見をいただく質疑等の場としていきたい。</p>
鈴木委員	<p>リニア中央新幹線の開業までわずかな時間というところにまで来ている。そういう関係の中で、例えば観光とかで、他市町村の観光協会の方とお話をする、東京方面で就職するが、住みよいのはこちらの方だというようなことがアンケート結果の中にもあるが、調査をされた中で、リニア中央新幹線に関する動態といったような調査はしていないように思われるがなぜか。</p>
企画調整 係長	<p>リニア中央新幹線については、御嵩町から新駅が予定されている中津川市へ出ることを比較すると、今の生活スタイルから考えると、名古屋へ出ることとあまり変わらない状況にある。また、リニア中央新幹線が輸送量や料金などを含めて通勤をするに値するものになるかどうかという試算は、ほとんど示されていない。</p> <p>中津川市については岐阜県の新駅というところもあって、実際に通われる、企業の方がいらっしゃるという、動態というか流れをある程度イメージすることが可能だと考えるが、当町周辺の生活動態がどのように変わるのかは、御嵩町だからというのをつかみ切るというのは現在のところ難しいと思っており、今回の調査についてはリニア中央新幹線に関する部分は含めていない。</p>
鈴木委員	<p>私が言いたいのは、町民に夢と希望を与えるために、そういう調査も必要ではなかったかということ。一言、リニア中央新幹線が将来できるがあなたはどのようなお考えですか、と。御嵩町だけの問題ではないが、人口の問題、産業、観光の問題、地方の問題を考えると、今はなかったとしてもこれから調査するのであれ</p>

	<p>ば、そういうことも考慮していただければ。</p>
益川会長	<p>直接的にどうかという、ご判断で含めなかったということだが、鈴木委員の言われたとおり、きっかけになるようなこともあるかもしれないので、少し勘案していただきながら行っていただきたい。</p>
水野委員	<p>名古屋圏への移動手段として名鉄があるのはありがたいが、名古屋圏へ転出してしまう方が多いというのは、電車の移動時間がかかりすぎるのではないかと考えている。私はあまり考えたことはなかったが、電車に乗って名古屋から御嵩へ来る人に話を聞くと、御嵩は遠いとよく言われる。そう言われるとそうかと思う。</p> <p>通勤電車に乗ると満員で犬山から名古屋方面へ発車する犬山線、小牧線ともかなり混雑しているのに対し、犬山から新可児駅の間はだいたい1時間に3本か4本しかないので、犬山から可児・御嵩方面の不便さがよくわかる。</p> <p>このあたりは行政が直接的に関わることはないが、もう少し名鉄に対し何かはないかと思う。御嵩駅から始発が出るようなことがあれば、かなり町が活気づくと思うがどうか。</p>
企画調整係長	<p>新可児駅で必ず乗り換えが必要で、途中で切符を入れなければならないのは苦しい。電子マネーのmanacaなどが入ってくるだけでも違って来るが、その点については御嵩町もこれまでずっと要望してきている。また、先週から大河ドラマ麒麟がくるが始まっているが、明智駅の利便性、利用率は数年前と比べると格段に上がっているという状況で、大河ドラマの放送が始まり大河ドラマ館もオープンしたということになれば、可児市も含めた流動性がこれから1、2年の間増えていくと思われる。</p> <p>そうすると、その後どうするかというのを考えなければいけない。継続的な利用者が増えていくように町としても事業をしていかなければいけないし、この1、2年のフィーバーで浮かれているようではすぐに窄んでいくので、継続的なもの、それ以上のものを求められるように、関係市町と協力をしなければならないという認識でいる。</p>
水野委員	<p>利便性が良いか悪いかという話ではなくて、名古屋方面から来て明智駅で降りた人が明智城跡はどこか聞かなければならない、また、聞こうにも誰もいないということではいけないのではないか。</p>
益川会長	<p>アンケート調査の結果においても公共交通の欄はたくさん自由記述欄に書いていただいている。これに対する地域住民さんの関心は非常に高いというのがよくわかるし、その中で名古屋へのというところを書いていただいている方もいる。</p>

	<p>なかなか行政が直接的にというのは難しい部分もあると思うが、名鉄に関しては今後のことを危惧されているという声は明らかにあるので、名古屋までの便も含めて引き続き検討、要望に乗せていただくということは必要だという気がする。</p>
須田委員	<p>民生委員的な立場で、少しお話したい。</p> <p>自然豊かな町で良いイメージを持っているような意見が多いように見えるが、住みよいのはどこだとなったときに、特に上之郷地域は不便である。先ほど電車の話が出たが、こうしたところが不便なのは地域の足。医者や買い物などの移動手段について、改善してほしいと思う。先ほどリニアの話があったが、ITの発達でスマートシティや自宅で仕事ができるということがどんどん発展すれば、バスの運転手がいらないなんてこともなしに無人で車を動かすようなことも可能になるかと思う。</p> <p>つまり、先進的・実験的なことを行って、御嵩町はなにかやっているということを見せてほしい。亜炭鉱の話でもそうだが、住民から見て、何かやっているなという風に思える施策、実験すれば良い。できる範囲で実験をしてもらって、上之郷でも自然豊かでそう不便でもないということになれば、魅力が上がってくると思う。失敗を恐れずに、こういう取り組みがあったらおもしろい。</p> <p>先日も孤独死に近いような案件があって、民生委員の仕事は人対人のアナログな仕事だが、孤独な人がいないような、便利な地域になっていけば、住みよい街になっていくと思う。お金もかかる話なので大きなことはできないかもしれないが、実験的で良いのでやっていくのも一つの方法ということでお願いしたい。</p>
企画調整係長	<p>無人での車両の運行について、郡上市や豊田市で国土交通省がフィールドに選定して実証実験を行っていたと記憶している。そうしたものに選んでもらえるような場所として、関係づくりだとか、アピールを怠らないように今後も進めていきたい。</p>
益川会長	<p>ここが御嵩の特徴だという部分が出てくると良いと思う。亜炭鉱についても一般的にはマイナスのイメージが強いものだが、それを逆手にとらえて環境先進都市として進められたというのは一つ大きな発信となったと思うし、町内においても評価をされている取り組みだと思う。</p> <p>今後ICTなどの新産業もどんどん出てくる。また、SDGsだとかSociety5.0などの新しい言葉が躍っているが、そういったものへの対応を先取りしながら御嵩らしさを出していくのも重要なことだと思うので、そのあたりも勘案してほしいと思う。</p>
松浪委員	<p>私自身は40年ほど前に御嵩に転入した。当初は30歳代で、御嵩発の電車で名</p>

	<p>古屋へ行っていた。その頃は御嵩から名古屋まで 58 分、1 時間かからないというたい文句。それがだんだん利用者の減少、名鉄側の事情もあると思うが、そうして現在の状況となって、さらに人口減少となっている。</p> <p>例えば西田では東急ニュータウンが開発されて人口が増えていった。最近はだいたい 5 から 10 軒くらいは転出していて、また転入してくる方もいるようである。開発当時 370 軒くらいあったはずだが、今はだいたい 345 軒ほどとなっている。そう極端に減っているわけではないが、やはり開発から 30 年 40 年経過しリフォーム、建て替えの時期を迎えているところもあり、別のところへ引っ越しをされるというケースがあったと聞いている。</p> <p>私も退職して約 18 年、今の時点で御嵩は非常に良いまちだと思う。団地以外でもいろいろなことに関して御嵩の人の親切さを感じている。ただ、自治会の活動などにおいてだんだんまとまりが希薄になってきているように感じる。例えば自治会でも脱会する人が増えたり、アパートにおいては自治会組織を作っていないところもある。また外国籍の方も増えてきている。外国籍の方を一括りにするわけではありませんが、真夏のバーベキューなど文化の違いもあり、話をしようにも日本語がわからないという言葉が返ってくる。</p> <p>とりとめのない話になったが、私たちもスポーツの分野などでこちらを会場にしてやろうと呼びかけたりしますが、かといって何百人と呼んだとして、来ていただいた方が食事をしたりする場所がない。みたけのええもんの PR もしているのは知っているが、どこで買えば良いのかということも現実にはある。人がたくさん来るには食事をする場所だとか特産品の PR だとか、そのあたりが課題になってくるのかなと思う。</p>
益川会長	<p>岐阜県は今とても有効求人倍率が高いので、将来的には外国籍の方がそこで働くということも出てくるだろうと思うので、そこを見据えて施策を考えていただく必要があると思う。</p> <p>また、御嵩町を自慢できるかといったときにわからないという人が 40%くらいということで、もしかすると、みたけのええもんだとか、亜炭鉱において、そういったところに繋がるような施策がとれるのかなと感じたので、御嵩を自慢できるかという結果も絡めて受け止めると良いと思う。</p>
中瓦委員	<p>教育委員の立場として、アンケートも教育に関するところを中心に見させてもらった。先ほど須田委員が、画期的な手法を以て、例えば上之郷が魅力的なところになると良いという話があった中で、上之郷の小中学校は今人数が少なくなっていて、そういう教育の現場にも、遠隔からでも来るといったような魅力的な政策ができないかいつも考えている。</p> <p>今、IT 教育が進められている中で、例えばタブレット端末を全員に配布すると</p>

	<p>いうのも、手を挙げると国は今かなりバックアップをしてくれるという状況の中で、こうしたことは上之郷のような人数の少ないところで充実してできると思うし、そのような方向で教育委員会からは話が上がっていると思うので、町としてもそれをバックアップして、IT 教育だけではないが一つの手法として魅力的なまちづくりを進めていけないかと思う。</p>
益川会長	<p>今教育の分野でも、子育て環境の充実が大事だという意識も出てきているので、プログラミング教育や、ESD という持続可能な開発のための教育というのも非常に注目をされているし、キャリア教育も仕事を知る、働くことを考えるとといった教育も国では進めようしているので、そのような基盤は御嵩町には結構あるという気がするので、教育の分野で大きなことにチャレンジしていくというのも良い方向性だなと思う。</p> <p>舩五山茶は上之郷中学校の方で作られたということですので、こういうことも徐々に進めていっていければ良いのではないかな。教育の分野も非常に重要なことだと認識している。</p>
鈴木委員	<p>資料2の19頁のところで質問したい。</p> <p>亜炭鉱廃坑の対策の満足度が24.3%、前回は13.1%、下水道の整備が19.5%、前回は36.5%、幹線道路の整備が18.3%で前回は45.8%となっている。例えばこの45.8%というのは、前回と比べて良くなってきたから満足度として減ってきたのか、このあたりをどう考えているか。</p>
企画課長	<p>2014年頃、国道21号線バイパスの開通など道路整備が進んできたところで前回の調査では満足を得られたと考えていますが、それから時間が経過し、その変化にも慣れ、大きな変化がなかったということで、現状に慣れたという分析をしている。</p>
益川会長	<p>一定の実績がなされたというところか。</p>
企画調整係長	<p>幹線道路については可児市と比較する部分が大きかったと考えている。可児市側については4車線、御嵩町に入ると2車線に狭まってしまうということで、これについては国土交通省の意向が非常に大きいものだが、そういった外との比較による満足度の低下と考える。</p>
鈴木委員	<p>例えば、亜炭鉱害の補助対象の問題が、今まで通り何十億円と続かないという状況が目に見えていると思うが、それを考えたときに、町の一般財源がどのようになるのか。永久に続くものではない。国の今のやり方でいくと、ある程度のと</p>

	<p>ころで打ち切るということになってくると思う。</p> <p>また、上下水道課が下水道区域の除外を行い、説明を今町民の方にしているという状況だと思うが、過去には、御嵩町は鬼岩まで下水道区域に入れる計画で相当の対応をしてきたが、先日の広報を見ると、一部地域を除外して合併浄化槽にすることが簡単に書いてあった。当初の計画にあったものが外されてしまうことになるので、そこへ今までにかけた負担割合の問題がどのように整理されてきているのか、亜炭鉱害の問題にしても例えば下水、水道の復旧に予算を投入していきたいというような、総合的な対策も考えないといけない。各課との連絡調整をしっかりとって、総合計画を前進させるためにやっていただきたい。</p> <p>今の亜炭鉱害の将来的なものがこのあたりで良いのか、10年も伸ばせるのか、3年で切られるのか、そのあたりはどういう考えか。</p>
<p>総務部長</p>	<p>亜炭廃坑の充填については、モデル事業から防災対策事業に切り替わってきている。最初に予算がつく時に、実質3年という期限付きの基金で受け取っている。今の防災対策事業も実質4年で、ずっと続くものではないと思っている。国はどれだけお金を投入したらこの問題は終わりますかという話になってくると思うので、すべてが埋められるものではないかもしれないというのは、皆さん薄々感じられていることではないかなと思う。今のところお金については、国が90%、県が10%、町では人件費は出しているが工事については負担していない。これは、国にもお願いしつつ予算をなんとか確保していくという形になる。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>少なくとも町民のニーズはそういうところに来ている。早くやってほしいというのが希望だから、少なくともそれに沿うように、予算がついたらということではなくて、鋭意努力しながら、10年かかるものを5年に短縮しながらやってみようとか。行政はダラダラして伸ばしてしまいがちになるので、よりシビアな計画を導入してもらいたい。</p>
<p>総務部長</p>	<p>できるだけ早く充填を進めていきたいと思っている。細かいもの、技術的なもので時間がかかってしまう部分はあるが、国から予算をお願いするのは節目節目で行っていきたい。</p> <p>下水の整備については、今回935haという数字が833haに縮小していくということ、これも両方の意見があり、1m整備してどれだけの顧客があるのかという計算もある。</p> <p>現実的によくある意見としては、なかなか下水が来ないので合併浄化槽を入れたいが、下水整備の計画が足かせになって合併浄化槽の補助金が出ないという話があったり、また、上之郷地域ではかなり浄化槽整備がされている。例えば津橋自治会では、自治会で皆やっている。水洗トイレなどの生活水準は同じように上</p>

	<p>げていきたいが、公共事業であり、各務原の浄化センターができたその周りから整備しているので、御嵩町は突端の条件の悪い場所。これまで右肩上がりでも整備してきたものではあるが、今は整備するにも高いばかりで、逆に町民に対してタイムリーな時に整備をすることができないということになり、震災等の影響もあって、合併浄化槽の方が良いという声が多く聞かれたのも事実で、そういったことから縮小という結論に至った。</p> <p>幹線道路の整備については、バイパスの整備の関係で一旦は満足度が良かったが、次の段階、つまり4車線化へ入っていかないとということだと思っている。4車線化は古屋敷など地域が二分されるのを懸念していて、あまり積極的に国へ要望はしていないが、最近では、用地も確保されており4車線化の要望をしていくという状況になっている。その反面、生活道路の整備というところが、整備というより維持補修になるが、その点には不満があるものと感じている。</p> <p>いずれにしても限られた予算の中でどう配分していくかというのは、財政当局の方も非常に頭を痛めている。今は、南海トラフ巨大地震がいつ来てもおかしくないという状況の中で、庁舎建設に予算を集中させていきたいというのは行政としては正直なところであり、そういった説明をしてきている。</p>
益川会長	<p>後期基本計画の策定に向けてという観点から言えば、長期的な、財政的な見通しをたてながらということだと思う。いつまでも国の補助金があるわけではないということで、それを見据えながら計画をたてていくというご指摘だと認識した。</p> <p>ただ、一定の実績を求めているというところもあるので、その声に応じて、早くやるべきところは早くやるなど、そういった視点をもってほしいというご意見かなと思う。</p>
鍵谷委員	<p>下水道のことについて、大事なことなので触れておきたい。</p> <p>10年計画の中間点に来た時に大きな変動があったのは、下水道区域の大幅な変更が国の事業によって変更になってきたということを町が真剣に受け止めて、総合計画の中で明確に変更になって変わってきたんだということを明示していかないといけない。せっかくこうして会議を開いていても、縮小される地域、上之郷地域が中心で、伏見では、山田の一部と、洞、里の一部ですが、そこは近い将来やってもらえるという期待感があったのが、突然今回の説明会を境にして、ほぼ永久にそうした事業の展開は望めないとするような、大きな改革がされているということ。</p> <p>つまり計画の中にあつたものが町の意向ではない形で示されたということをしつかりと受け止めて、住民側にも、費用対効果の面から見るとやむを得ない、人が住んでいないところに工事を先行して行って住める環境にしていけるかということとは町の大きな賭け事である。</p>

	<p>私は伏見の街中でも上之郷の奥の方でも同じ生活環境を作り上げていくことが一番大事な基本計画だと思っている。こうしてやむを得ないことが現実に起こったとすれば、これから後期計画へ向けての説明があると思うが、そういうところに説明を入れてこそ、この審議会の意味があると思う。</p> <p>説明会が終わった後に都市計画審議会を開いて、下水道区域の変更を求める委員会を開催するという事で打ち合わせをしているので、おそらくそういう方向に行くとは思いますが、それをその部門だけが知っているということではなくて、やはり全部の人が、現在の状況では財政状況から悔しいけれどできないということを町民の皆さんに知らせてあげることが大事な審議会だと思う。</p> <p>事情はたくさんあると思いますが現状はなかなか難しいので、建設課長と上下水道課長とも話したが、合併浄化槽に切り替える際の思い切った助成措置を町も考えないといけないというのは我々の意見としてきちんと執行部に伝えて、地域の人がこれ以上待てないと設置した状況に対して財政措置を十分ではないけれど、わずかでも促進をしていくという生活環境をできたら早めに知らせてあげる、例えば4月に自治会長会が開かれるとすれば、本当はそういう席で重要な課題として細かく説明し、財政措置を実施するという切り替えをやらないと、非常に不公平であると思う。変更と縮小の対象となった箇所には十分な配慮をするというのが行政の魅力だと思うので頑張ってもらいたいと思う。</p>
益川会長	<p>いろいろな事情があるとは思いますが、見直しをかけていかなければならないところは出てくると思う。今後のこの計画の策定方針に関わる重要な論点となるところだと思う。</p> <p>引き続き次の議題である後期基本計画の策定方針について、事務局より説明をいただいて、併せてご意見を頂戴できればと思う。</p>
企画調整 係長	<p>=====</p> <p>・資料3にて御嵩町第五次総合計画後期基本計画の策定方針等 について説明</p> <p>=====</p>
益川会長	<p>後期基本計画の策定に向けての話を報告いただいた。先ほどのご意見、議論から繋がる場所もあるかと思う。特に、成果指標についても見直していきたいということもあったが、そのあたりも含めましてご意見をいただければと思う。</p>
企画調整 係長	<p>来年度以降新たに出てくる各種計画や新庁舎関係などについても本計画への取り込みは行っていく。不足しているものなども含めご指摘をいただいたうえで策定を進めていきたいと思う。</p>

益川会長	<p>新庁舎整備を中心として新しいものもしっかりと取り込んでいくということ。そういった観点から、基本的な方向性をお示しいただいたということだと思う。</p>
平井副会長	<p>昼夜間人口について、御嵩町には高校が2つあり、生徒さんの7から8割が他市町村から来ている。それに比べて例えば川辺町などでは高校が1つもなく昼夜間人口比は80%代。だから御嵩町にもし高校がなければ御嵩町も80%代になると思われ、やはり外に働きに行き夜になったら帰ってくるという感じを受ける。</p> <p>人口流出を止める、人口を増やすということになれば、やはり御嵩町は工業で伸びていく町だと思う。そこで私が期待したのはリニアの残土を使って上之郷の方で団地をつくるという話、あれができれば当然そこで働く人が増え町が活性化し、住宅ができるということで人口も増えていくのでは。</p> <p>今、井尻の方では一戸建ての住宅ができて人口が増えている。なので上之郷にはまだまだその余地があるという気がしているが、医療機関やスーパーなどが立地し活性化に繋がっていかないか、そんな種まきをしてほしいと思っている。当然そこへ行く道も4車線になったりと期待される。工業団地の方では朝晩は大変混んでいて信号も1回では行けないというような状況が続いているので、そのあたりから順番に整備し、人口の増加に向けた施策ができないかと考えている。</p> <p>御嵩町は飲食店が少なくなってきているので商工会としては申し訳ないと思っているが、探していただければまだまだある。</p>
益川会長	<p>人口の動きというのを少し基盤にしながら派生していく問題がどうあるのかというところを中心に考えていけばというご提案で非常に重要な視点だと思う。</p>
鈴木委員	<p>審議会には各分野の方に来ていただいているが、各種団体の執行部等と協議をしたり、意見を伺いたいというような案を、部分的にこの会議の下の部会のようなものでも良いので、計画の拡大、事務局がまだ目につかない部分がたくさんあると思うので、それを掘り起こすために、各分野で意見を聞かれるような方法をとれないか。</p>
企画調整係長	<p>団体様、関係者の方のご意見というのはもちろん必要なことだと思う。先ほどの資料の中に今後の予定としてワークショップを行いたいと考えている。そういったところにご参画をいただければほかの方に伝えるとか、参加型のような形でも良いのかなと思うので、ワークショップの際にはテーマを決めて実施するという形も手法として考えられる。そこも一緒に考えていければと思うので、またご相談させていただければと思う。</p>

益川会長	<p>こうして代表の方に審議会に来ていただいているわけですが、なかなかそれだけでは吸い上げることができない声もあるというご指摘だと思う。ワークショップはおそらく若者の声を聴くようなものもあるかと思うので、きめ細やかな形で声が届くような形で実施してほしいと思う。</p>
安藤委員	<p>アンケートの分析を見ると、やはり若い人からの回答が少ない。有効回答率が41.6%ということで、こういったアンケートにしてはたくさんの人に回答をいただいているとは思いますが、今は時代の流れがすごく早くなっていて、SDGsやITなどいろいろなものが出てきているので、やはり若い子の意見、将来設計が固まっているわけではないので将来を見通した地に足のついた意見というわけにはいかないかもしれないが、「こういうまちをつくっていきたい」という意見を引っ張り出していくと、これから先の御嵩町の人口、1ターンやリターンなどにも繋がってくると思うので、計画しているワークショップを大切に、テーマを上手に考えていただいて、そういう意見を拾い上げていけると良いと思う。</p>
益川会長	<p>アンケートで高校生などが暮らしやすく夢が持てるようにする方策ということを知っているが、これは当事者の目線ではない。親の世代からということで、結構ギャップがある場合もある。</p> <p>ほかの自治体で、若い人にとって大事なものと聞いたときに、年齢の高い人が、結婚する人が少なくなっているから婚活のイベントをやったら良いのではないかと、若い人のことを思って高齢の方が言っているのですが、若い人に聞くとそんなことは大きなお世話だと。良いか悪いかは別として逆のことを思っているということもかなりある。</p> <p>そのあたりを埋められるような機会となるようなワークショップになると良いと思う。なるべく多様な方が、それぞれの立場で上下関係のない形で意見交換できると良いと思う。</p>
重政委員	<p>若い方ももちろんですが、高齢化は進んでいくことから、当然高齢者の方も大事にしていかなければならないと思う。御嵩には介護施設やグループホームといったものがまだまだ多くないと思っている。当然民間の力も必要だが、このあたり計画が、私が知る限りではあまり見えてきていないので、こういった計画の中には取り込んでいく考えはないか。</p>
益川会長	<p>90歳以上の女性の人口がかなり増えているという人口ピラミッドでの報告もあったが、そのあたり超高齢社会に向けての対策ということ。施設となるとすぐには難しいが、そのあたりの充実という点でどうか。</p>

<p>企画調整 係長</p>	<p>デイサービスなどの日常的なケアについては御嵩町内にも点在している。特別養護老人ホームは井尻地内で慈恵会が事業を行っているが、事業者自体の介護従事者が不足している。受け入れ基盤そのものをつくっていかないと、建物だけつくって終わりになってしまうという懸念がある。</p> <p>先ほど工業団地の関連の話が出たが、岐阜県の有効求人倍率は2018年10月時点で1.96倍となっており、工業団地に関していえばもっと高い。介護の方も人手が足りないという状況で、支援のひとつとして、キャリア教育事業にあっては、今年の事業において東濃高校と慈恵会さんを繋げ、試験的な部分もありますが実施していく。</p> <p>まず人をつくるということをしていかないと、既存の施設の運営自体も保てない可能性がある。長期的なビジョンとなるが、人を育てていくのが重要だと思っていて、そちらの方からも支援をさせていただきたいと思う。</p>
<p>益川会長</p>	<p>働く場での人材育成といったところ。介護の場面でもそうだと思うし、公共交通の分野での人材不足というのは言われているところ、そのあたりの人材確保というのにも必要になってくるというの絡んで、ひとつのキーワードとなってくるのかなというのを感じた。</p>
<p>鍵谷委員</p>	<p>町で行う各種事業が町の基本計画に含まれているものであるという認識が不足していると思っている。計画にないことをやるということがあった場合はどうするのかということ。</p> <p>現在の第五次総合計画においては、庁舎建設関連については34ページのところに「庁舎などの公共施設については、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行う」という程度しか書いていない。新庁舎建設に関連する事業は、少なからずこの計画のどこを適用してどの部分から事業展開していったのかというのを考えたときに違和感がある。四十数億使うといわれている庁舎建設事業がどの部分を使って行っているか、緊急性があつてニーズにこたえるためというのを書いていない。</p> <p>この計画を策定するときに私は審議会委員で、庁舎建設の話が芽生えたときだった。その時に、町の話として、町内の公共施設すべてを洗い出して、順番付けを行って実施するというような話であったが、やはり計画の中に明文化すべきではないか。特に耐震性の問題が平成28年を境に、耐震診断を受けなければならないという命によって進められるというひとつの経緯があった。だから、入れたらどうかと提案したが、民意の中で決まったことではあるが入れていただけなかった。</p> <p>それで今回の資料において、アンケート調査結果についてあるが、新庁舎に関する質問を入れてほしかったという意見があった。位置が決まった経緯などにつ</p>

	<p>いては一切申し上げないし、多くの努力の結果決まったものであるのが、それを受けて、企画課の取り組み方としてどうだったか。</p>
益川会長	<p>総合計画というのは御嵩町の計画の一番の基礎になるところで、大事なものが抜けているのは良くないといったことだと受け止めた。</p> <p>新庁舎だけでなく、大事なものは見直しの時期ということもあり、もちろん根幹の部分は変えないということだとは思いますが、見直すべきところは見直していくという視点で後期計画の策定を進めてほしいと思う。</p> <p>それから、少し長期的な、財政的な視野も持ちながら進めていく、一方で住民の要望の大きいところは早い形で進めていくといった、そんな観点で後期計画の策定を進めてほしいと思う。町の一番の根幹になる計画をしっかりと作成していただくことを依頼して、本日の総合計画審議会の議事は閉じさせていただく。</p> <p>最後、事務局にお返しする。</p>

○閉会

企画課長	<p>ではこれにて終了とします。</p>
------	----------------------